はままつ

図書館だより

4,5月合併号

vol.196

令和5年4月28日
浜松市立図書館

特集　浜松市文化遺産デジタルアーカイブがリニューアル!!

▲ 表紙に俳優のフランキー堺が起用された浜松市営バス（貸切観光バス）のパンフレットです。
中を開くと観光のモデルコースが多数掲載されています。
この資料は昭和35年に発行されました。（二次元コードから見ることができます）▶

特集

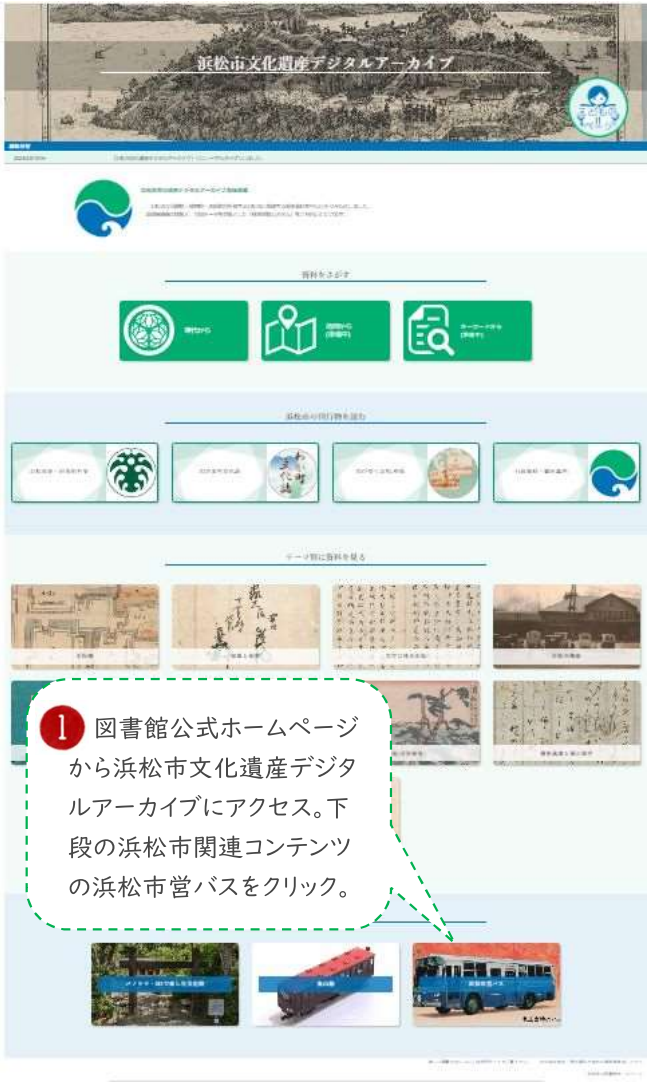
浜松市文化遺産デジタルアーカイブがリニューアル！！

「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」が令和5年3月31日にリニューアルしました。
今回、追加コンテンツのうち「浜松市営バス」の動くコンテンツについてご紹介します。

浜松市営バスってなに？

浜松市営バスは、昭和11年に営業が開始され、惜しまれつつも昭和61年に廃止となった公営交通です。路線バスと観光バスが運行されました。

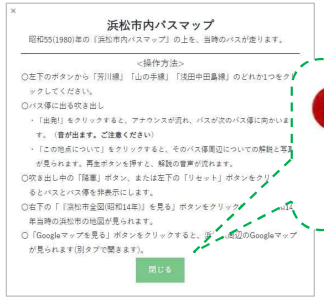
今回の動くコンテンツでは、昭和55年発行の浜松市内バスマップ上を市営バスが動き、当時の様子を写真と元市営バス車掌の音声解説で案内をします。



(浜松市文化遺産デジタルアーカイブHP)

◀二次元コードでコンテンツを見ることができます。

1 図書館公式ホームページから浜松市文化遺産デジタルアーカイブにアクセス。下段の浜松市関連コンテンツの浜松市営バスをクリック。



2 操作方法、注意事項を確認し、「閉じる」をクリック。

大きな画面で見るのがオススメ！

3 好きな路線を選んで・・・

いざ出発！

「出発！」をクリックすると、アナウンスとともにバスが出発します。

写真をクリック！拡大できます。

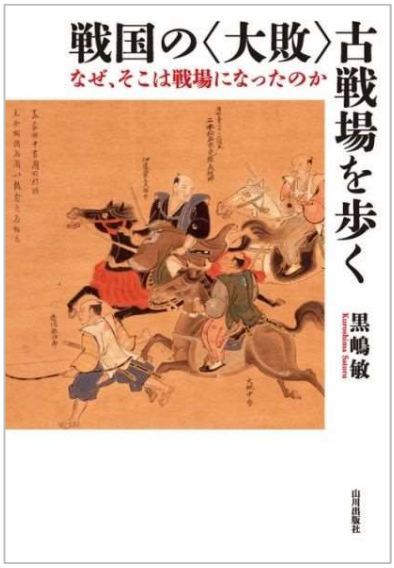
「この地点について」をクリックすると、そのバス停付近の写真を見ることができたり、その地点の移り変わりを音声で聞いたりできます。

＼読んでみる？／　家康の生涯と浜松（第１回）

大河ドラマの主人公に取り上げられると、研究書・案内書・小説など様々な書籍がたくさん発刊されます。本年、浜松が舞台の大河ドラマ「どうする家康」の放映に併せて、中央図書館をはじめ、市内の図書館では主人公の徳川家康のコーナーを開設しています。その中からおすすめの書籍をご紹介します。

「戦国の〈大敗〉古戦場を歩く　なぜ、そこは戦場になったのか」

黒嶋　敏／著　山川出版社　2022年



著者は中世史の大学教員でありながら、本書では戦国史ファンの目線で地図を片手に古戦場を巡り歩き、現地のレポートをしています。本の中では５件の合戦事例を取り上げ、そのうち〈桶狭間〉〈三方ヶ原〉〈長篠〉の３件が、家康に深くかかわる戦いになっています。
第４章「いざ、三方ヶ原」は家康本人が大敗した三方ヶ原の戦いについて、根拠資料に基づく家康研究の成果を入れ込み、現地を歩いて、戦いの経緯や犀ヶ崖・遠州大念仏などの家康伝承まで語っています。
また、あまり知られていない南北朝時代の1337年（建武４）に南朝方の宗良親王の軍勢と北朝方の今川範国の軍勢が激突したもう一つの三方ヶ原の戦いにも触れています。わずかなページ数ですが中世から現代までの三方原台地の歴史全体を一気に読める肩の凝らない一冊となっています。

図書館からのお知らせ

中学生図書館ボランティア募集！
図書館のしくみや本の分類などが楽しく学べます。
対象は、浜松市在住の中学生、そして浜松市内の中学校に通学している中学生です。
活動してくれた方に、「活動参加証」をお渡しします。

＼募集案内はこちら／
（図書館HP）

はままつ図書館だより No.196（2023年4月28日発行）

浜松市立中央図書館
浜松市中区松城町214番地の21
☎ 053−456−0234　FAX 053−453−2324
✉ chuo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
ホームページ https://www.lib-city-hamamatsu.jp/
ツイッター @HamachuoLib

図書館だより
バックナンバー